

こんにちは、

# 日本共産党井上けんじです

日本共産党南地区委員会 5371-9164 自宅 5(FAX 兼用) 6 9 1 - 3 3 2 3

日本共産党京都市会議員団 5 2 2 2 - 3 7 2 8 FAX 211-2130 '14年 4月 6日号

市会議員団ホームページ <http://web.kyoto-inet.or.jp/org/cpgkyoto/> E-mail [cpgkyoto@mbox.kyoto-inet.or.jp](mailto:cpgkyoto@mbox.kyoto-inet.or.jp)

## 社会保障改革プログラム法の改悪スケジュール

分野	主な項目	法案提出・実施メド
介護	要支援者を保険給付からははずす	14年通常国会に法案提出、15年実施
	特養ホームへの軽度者の入所制限	同上
	利用料1割→2割へ(一定所得以上)	同上
年金	過去の物価下落分の削減	13年10月から15年4月まで2.5%減
	支給開始年齢引き上げ	中長期で検討
医療	70~74歳の窓口負担を1割から2割に	14年実施
	病床削減で患者追い出し	14年法案提出、17年度までに実施
	入院時食費など患者負担増	15年法案提出、17年度めど
保育	公的責任放棄の「新システム」規制緩和など	15年4月から実施
	株式会社の参入を促す	13~17年度実施

消費税増税、社会保障改悪、原発推進、憲法改悪・戦争への道……

**安倍内閣暴走ストロップの声を、京都から広げよう**

**みんなで力を合わせ、暮らしと政治を変えよう**

安倍内閣の暴走が止まりません。さらに、知事も市長も、これに追随・同調しています。消費税増税と社会保障の問題について取り上げます。

消費税は社会保障に使われるという「口実」は、左表の如く、社会保障大改悪という事実そのものによって、ためにする議論であることが証明されています。仮に消費税分が社会保障に充てられるとしても、その分、従来、社会保障に充てられてい

た財源が他の使い道に回されるだけで、そもそもお金に色はついていません。んから、こんな議論は何の意味もありません。それを、政府や市長などは、まことしやかに「社会保障に」と言っているだけです。

社会保障のうち、いくつかの分野の動きについて紹介します。

▼70~74歳の「前期高齢者」の医療費窓口負担が一割から二割へと値上げになります(法律では既

に二割が決まっています。た11だから受給者証には2割と書かれているが、国民の運動で、実際は一割据え置きが続いてきました。70歳の誕生日が今年の4月1日以前の人は1割のままですが、

4月2日以降に70歳の誕生日を迎える人は、その誕生日以降、二割になります。但し、65~69歳の老人医療制度(左下吹き出し欄)の対象者は、来年3月1日までに70歳になっても、当面、今年度末(来年3月末)までは一割のままです。老人医療制度の今後については、今回の知事選挙でも大きな争点のひとつとなっています。

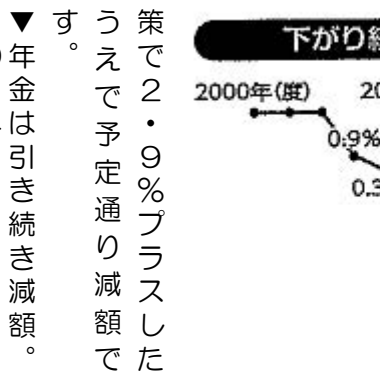
▼生活保護費は消費税対象ではないか。自由主義経済なので、衰退していく産業や、つぶれる会社もある。○驚くべき答弁だ。「成長戦略」とは、結局、弱肉強食、優勝劣敗、強い者勝ちの政策に他ならない。全体の底上げが必要。↓自由競争の中で活力を生み出す。○もっと現場に足を運び実態を把握すべき。↓中小企業団体と情報交換している。○中小企業振興条例を。↓検討・研究していく。

策で2・9%プラスしたうえで予定通り減額です。

▼年金は引き続き減額。▼40~64歳の協会けんぽの被保険者の介護保険料も値上げです(健康保険料は9・98%で据え置きですが、介護保険料は1・55から1・72%へ)。

▼介護保険の大改悪案が、現在、国会で審議中

要ではないか。自由主義経済なので、衰退していく産業や、つぶれる会社もある。○驚くべき答弁だ。「成長戦略」とは、結局、弱肉強食、優勝劣敗、強い者勝ちの政策に他ならない。全体の底上げが必要。↓自由競争の中で活力を生み出す。○もっと現場に足を運び実態を把握すべき。↓中小企業団体と情報交換している。○中小企業振興条例を。↓検討・研究していく。



6日は知事選挙投票日。票も積もれば山になる、大きな大きな山になる

### 老人医療制度とは

- 65~70歳未満で、
- ① 所得税非課税や、
  - ② 一定所得内で独居等の方、に対する支援策として、
  - ① 窓口負担1割や、
  - ② 一ヶ月の負担が高くないように限度額を設定